

「サダコ」・虹つうしん No.1

2006年2～6月号

2006.6.30.



領 収 証

¥ _____

「サダコ」・虹基金事務局

この度はご寄付をありがとうございました。

ご入金いただいてかなり日経っている方もありご不快に感じられている事とは存じます。お許し下さい。

私の拙い文章「思い出のサダコ」が本になったのを機に、長年心に思っていた、禎子ちゃんの死を今ある命につないでいく仕事に一步踏み出しました。幸い共感してくれる友人たちが、私が動けない状況になったのを補い支えてくれて、「サダコ」・虹基金は発足しました。

友人達とのささやかな出発でしたが、毎日新聞に掲載されたことで、全国的に広がる要素が出来ました。記事が出てから3ヶ月以上経った今もまだ振込み報告が来ています。新聞記事を読んだだけで、見ず知らずの私どもの会に信頼を寄せて寄付金を送って下さる方々の存在は、まだまだ心温かい人達が居るといふ実感を与えてくれ大きな励みになっています。イラクの子どもたちや、それを支えていくJIM-NETの人達への熱い想いがあって、そこへの橋渡しを託された信頼を、これからもしっかり受け止め、役割を果たしていきたいと思っています。この間(2006.2月～6月)に寄せられた寄付金・本の収益・執筆料など合計752,000円はすでにJIM-NETの方へ贈りました。ご報告と共にここにあらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。

なおこの会の運営は、JIM-NET等への支援活動が主で、皆様のお心を生かすために、お振込みいただいた金額は全額贈っています(お金の出入りは全額口座を通して記録を残しています)。従って会の事務費等は有志の寄付で賄っていますので、経費節約と私がまだ闘病中で入退院を繰り返して人手としても対応しきれず、しばらくは半年に1回くらいの通信になりますこと、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

大 倉 記 代

事務局から

本『思い出のサダコ』の出版を機に、「サダコ」・虹基金を立ち上げ、JIM-NETの活動の支援を呼びかけていただきありがとうございます。新聞記事を読み全国からご寄付を寄せて下さった方々がいると聞き大変ありがたく思っています。6月25日現在 JIM-NET に振り込んでいただいた金額は 5 回分 752,000 円になりました。

JIM-NET では現在、イラク隣国のヨルダンから医療支援を行っていますが、白血病の薬代は一人一日約 400 円かかります。計算すると 1880 日分の薬代になります。(白血病の治療は約 3 年間 = 1095 日かかります)

「とにかく薬が足りない」とイラク各地の病院から薬のリクエストが次々に届きます。病院からのリクエストにこたえて薬を買って送ることができるのは、皆様からの寄付のおかげです。ありがとうございます。今後も引き続きご支援・ご注目をどうぞよろしくお願い致します。

* 機会がありましたら JIM-NET の HP をのぞいてみてください。

<http://www.jim-net.net/>

アンマンにて 佐藤真紀より

イラク国内は、今最悪の状態と聞いていいでしょう。

まず治安が一向に良くなりません。この間、アハマッド・サラーム君という白血病の 7 歳の男の子が、バグダッドからアンマンに検査のためにやってきました。146 週の治療のうち 113 週を終え今のところ順調です。でも、家の周りには地雷が仕掛けられていて、とても危険な状態です。地雷を見つけて警察に届けたりするとどんなひどい

眼にあうかわからないといえます。なぜなら、警察も信用できず、地雷を仕掛けた当事者が警察の中にもいられないからだとか。結局、アハマッド君一家は、母方の実家に避難していますが、病院に通うのさえ命がけなのです。

そして、病院には薬がたりません。本来イラク政府が、各国の援助や石油の収入でうまく予算をやりくりすれば、病院には薬が届くはずですが、

しかし、政府は、権力争いを続けており、12月の選挙結果を受けて組閣が6月8日ようやく決まりましたが、行政機能は落ち着かず、かえって悪くなっています。

又、国際社会の関心の低下。NGO などからの支援も減っていて、ここ数ヶ月が正念場です。現在、バグダッド 2 病院とバスラ、モスルの合計 4 病院に支援を行っていますが、毎月 200 万程度だった支援を 500 万円程度に増やしています。これはある意味で厳しい賭けです。このペースでいけば 10 月ころには、たまったお金も使い切ってしまう計算になります。したがってそのころには、イラク政府自らかなりの薬を調達できること、他の NGO などからの支援が増えることを願っています。

このところ、アンマン バグダッドの輸送路が非常に危険で、運送を担ってくれているドライバーの情報収集能力と機転に頼るほかない状況です。幸いにも今のところ、送った薬はすべて無事に届いています。治安の悪化で、病院に届くのが少しでも遅れると落ち着いて眠れない、そんな日々が続いています。引き続き、皆様からの暖かいご支援をよろしくお願い致します。

「サダコ」・虹基金 メッセージ

- * 「 会」有志として基金に賛同します。
- * 頑張ってください。
- * 新聞記事で拝見しました。役立ててください。
- * お役に立てば幸いです。
- * お体に気をつけてご活躍下さいませ。
- * イラクの子どもたちへ
- * 白血病に苦しむイラクの子どもたちのために
- * 毎日新聞で記事を読みました。役立ててください。
- * 白血病に苦しむイラクの子どもたちのために
- * 白血病に苦しむイラクの子どもたちのために。少額ですが使って頂きたい
く思います。
- * 御幸運をお祈りします。
- * 毎日新聞の記事を読み共感しました。気持ちだけですが……
- * イラクの子どもたちの医療支援に
- * 毎日新聞を見ました。
- * 少額ですがお役に立てればと思っています 出来れば無事に届いた旨の
お知らせをいただければありがたいと考えます。
- * 少額ですがお役に立てればと思っています。犠牲は常に弱者が負わされ
ます。私達はもっと怒りを表せなければいけないのかもしれないかも
しれません。
- * 春の散策を楽しめた後に（同級生7人で）
- * 大倉記代様お元気でご活躍、お喜び申し上げます。
- * この基金の輪がますます広がります事をお祈り申し上げます。
- * 毎日新聞で読みました。
私も 18 歳で陸軍被服支弊で女専から女子挺身隊員として多くの被爆者
の方たちの治療をさせてもらいました。はからずも去年 12 月 27 日、大
腸の手術、多くの先生のお蔭で無事本日を迎えています。たくさんの亡
くなられた方々への供養のつもりでささやかな寄付をさせていただきま
す。どうぞお体大切にお祈りします。
- * 広島カープファンとしては、たとえばカープ勝利の日とか、覇道の選手
のホームランや勝ち投手の日などに虹基金へ募金することにしたいと思
います。もちろん平和のための大きなイベントの時なども。

注：発信者が特定される事が無い様一部カットしています。ご了承下さい。

事務局便り

* **シール** この度シンボルになる絵のシールを作りました。絵柄は全部で5種類です。今年高校を卒業したNa eさんの絵です。どうぞこの絵を貼った貯金箱を作って引き続きご支援をよろしくお願いします。周りの方々へもご紹介下さると嬉しいです。

またこのシールは闘病中のイラクの子どもたちにも「サダコ」と日本が応援しているよ！と贈る予定です。

* **シオリ** 会員証代わりに。周りの方にもぜひ持っていただくようご紹介下さい。

* **振込用紙の通信欄** ぜひ一言寄せて下さい。紙上交流会でより支援の輪が広がる事を願っています。

* **「戦火の爪あとに生きる」** みな様にはJ I M - N E Tへ贈られた後の使い道にも当然ながら関心がおありと思います。

この度佐藤真紀さんが「戦火の爪あとに生きる 劣化ウラン弾とイラクの子どもたち」(童話館出版 / ¥ 1 8 0 0 + 税)という本を出されました。

内容は湾岸戦争からの歴史を追って白血病の子どもたちが増えた経過や、個々の子どもたちの事、世界への視点など、子どもたちにも理解出来るようルビ付きの文で書かれています。ご購入いただくのもありがたいのですが、まずはお近くの公共図書館にリクエストを出して、ぜひご一読ください。多くの人に読んでいただきたいのです。

